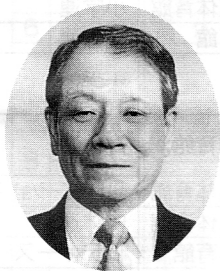


第 35 号

バドミントン しずおか

発行 平成 23 年 6 月 発行所 静岡県バドミントン協会 編集者 広報委員会 印刷 富士ニュース社印刷事業部

あいさつ



静岡県バドミントン協会
会長 上野 忠

3月11日三陸沖を震源とする東日本大地震が発生し我が国観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し

大津波の襲来とともに火災の発生、原子力発電所の重大事故と未曾有の災害となりました。この災害によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに被災された皆さまに心よりお見舞い申しあげます。そして一日も早い復興を願ってやみません。

テレビ、新聞などによる報道を見聞するに東海地震の発生が危惧される本県にあっては決して他人事とは思えません。日本国民が一丸となって支援協力をしなくてはと思います。

この大震災の陰にかくれて大きく報道されませんでした。3月15日富士宮市、富士市を中心に東日本地震による誘発地震とも思える地震があり多くの被害がありました。自然災害の発生は予測が難しいのが現状です。日頃より備えを忘れないようにしましょう。なお富士市協会ではこの大震災で被害にあわれた岩手、宮城、福島県の同志（バドミントン愛好者）に少しでも援助出来ればと用具（ラケット、ウェア）等不用品があったら提供をお願いしたく募集しています。御協力をお願いします。

さて、23年度総会が4月30日開催され大震災に対する義援金の拠出が承認されました。また先年より課題でありました団体加盟金も審議されましたが次回理事会まで結論は延期されました。協会財政の健全化、選手強化費の充実を計るうえでも是非とも御協力をお願いする次第であります。その他審議事項はすべて承認され、人事に関しては新たに副会長に工藤喜久雄氏（沼津市協会）が就任されました。その経験と実績に期待するところです。本年度行事もすでに始まり各種予選会が開催されておりますが目標を高くして頑張ってください。

また来年度開催予定の全国小学生大会まで1年余となりました。関係者はもとより協会員全員で成功に向かって団結しましょう。

おわりに協会広報紙の発刊（35号）が担当者病気の入院のため遅れまして申し訳ありませんでした。新たに広報委員長として大石恵司さんが就任されました。よろしく御協力をお願いします。

大会申込書に寄せて



静岡県バドミントン協会
副会長 和田 夏樹

東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災地の一日も早い復興を心からお祈り致します。

多くの方がお亡くなりになった中で、私達はこの様に日々平穩に生かされております。この事に感謝を致し、精進して参りたいと思います。

私の所が、申込先になっている県大会が二つあります。もう何年も受け付けておられますと、その間に色々な事があります。

その1、強い選手がいるチームは申込書がしっかり書いており、一方、乱雑・なぐり書きの申込書のチームは、概してそうでない事が多く有ります。強い選手がいるチームは組織がしっかりしており、マネージャーも居るから書けるのだと言うかも知れませんがそうでしょうか。私はそうは思いません。集中力を高め、全ての事に当たる、その姿勢が練習効果を高め、競技力を向上させるものだと思います。申込書を書く時も同じ事が言えるのではないのでしょうか。ただ漫然と書くのではなく、意識して書くことが必要だと思います。

その2、要項には、申込方法として「参加料と一緒に申込む」と記載されているのに、申込書だけのチームが高体連に依然として有ります。参加料を入れ忘れたのではない証拠に、「参加料は当日持参します」と書いてあります。現金書留で送るには、郵便局まで行かなければならず面倒なので、申込書だけのを承知でポストに入れるのだと思います。書類不備で送り返す事は百も承知ですが、顧問の先生の不手際で、生徒が出場出来なくなる事も忍び難く、受理しております。入学願書もこの様にしていますかと、一度お聞きしたいとも思います。

その3、申込みの締切り当日、郵送では間に合わないと、私の所まで申込書を持って来たチームも有ります。また、シングルス一人だけの申込みなので、参加料は1,000円です。それに500円の郵送料を使って申込みする人がおります。この人達等には大会に出場したいという意気込みが痛いほど感じられます。

申込み締切り当日、「速達で送りましたので、お願いします」と電話があります。いくら速達でもその日には着きません。申込み期限は守って欲しいものです。

一枚か二枚の申込書ですが、そこには申込者の、気持や、性格等を垣間見ることが出来、大会とは違った楽しみも有ります。